

# 議会だより



伝えたい、残したい思いを言葉にのせて「松島の歴史と伝説 語り部の会」の皆さん

- ◇ 6人の議員が熱弁(一般質問)…………… 2 P
- ◇ 雨水ポンプ場建設へ(議案審議) …… 9 P
- ◇ 委員会活動報告 …………… 18 P
- ◇ 町民の声 …………… 22 P

平成28年  
第4回 定例会

[12月9日～12月14日]

# 町政Q&A

## 一般質問

ここが聞きたい!

## 6人の議員が 10件について質問

櫻井 靖 議員 (3ページ)

- ◆ 避難を教訓に
- ◆ 町主催のイベント等の駐車場計画はどうなっているのか

菅野良雄 議員 (4ページ)

- ◆ 高齢者の免許証返納で交通事故防止を
- ◆ 災害対策費用保険制度への加入は

今野 章 議員 (5ページ)

- ◆ 町営バスの日曜日運休、今後は
- ◆ 風光明媚な「松島」の保存を

色川晴夫 議員 (6ページ)

- ◆ 「観光松島」の玄関口、観光協会駅前案内所の閉鎖について

赤間幸夫 議員 (7ページ)

- ◆ 町政の運営姿勢に、変化が生じてきているのか
- ◆ 職員給与改善に対する取り組み姿勢は

後藤良郎 議員 (8ページ)

- ◆ 投票率向上のために



さくら い やすし  
櫻 井 靖 議員

一般質問

## 問 避難を教訓に

### 答 11月5日を町民防災の日に定め、総合防災訓練を計画的に実施していく

**問** 11月22日に発生した地震に伴う津波に対して、避難所が開設され、住民が避難した。東日本大震災の記憶を忘れないためにも防災の日を定め、全町あげて避難訓練の実施をすべきではないか。

**危機管理監** 住民アンケートで最も意見が多く、行事等も重複しない11月5日を町民防災の日に定め、総合防災訓練を計画的に実施していく。



設置予定の「のぼり」デザイン

**問** 避難所が開設しているのかわからないという声がある。遠くから見ても分かるよう、開設している時は旗をたてるなどの工夫をしてはどうか。

**危機管理監** 目立つのぼりを設置することを検討している。のぼりであれば道路沿いに設置することが可能であり、幹線道路からも誘導することができる。また、絵文字や英語等を表記することで外国人観光客の避難に対応できるものと考えている。

**問** 高城避難所のキッズルームが活用され好評であった。各施設においても設置してはどうか。

**危機管理監** 避難時に子供たちが遊べるスペース機能があることは親の負担軽減にもつながることから理想的であるが、高城避難所以外の避難所においては、遊べるスペースを確保することは他の避難者との共存を難しくさせる。避難所の運営上、子供が遊べるスペースを確保することは難しい。

**問** 町主催のイベント等の駐車場計画はどうなっているのか

**答** 事前の打ち合わせを交通安全指導員等と行い、安全体制を整えていく

**問** 町が主催して行う催し・イベント等が年に何回あるが、事故こそないものの渋滞等のトラブルが毎回ある。交通安全指導員等現場の意見を取り入れた駐車場計画をたてているのか。

**産業観光課長** 一度に多くの来場者がある場合は、一目でわかる表示は必要なものと考えている。交通安全指導員や松島交番所などの関係機関よりアドバイスをいただきながら、設置に向けて検討したい。

**産業観光課長** 今後、イベント開催が可能な施設が完成し、交通安全指導員の協力が今まで以上に必要となる。イベント開催における事前の打ち合わせを交通安全指導員等と行い、安全体制を整えていきたい。

**問** 出入り口や誘導ルートをきちんと定め、目立つ出入り口看板を作って設置すべきではないか。



文化観光交流館での交通整理

## 問 高齢者の免許証返納で交通事故防止を

### 答 塩釜署の意見を聞く等、促す方策を取りたい



菅野良雄 議員

一般質問

**問** 近年、高齢運転者による交通事故の報道で、運転免許証の自主返納者が多くなったと報道されている。本町において免許証を自主返納した人はいるのか。

**総務課長** 65歳以上の自主返納者は、25年が7人、26年が5人、27年が12人、28年が20人である。

**問** 高齢者世帯や高齢者の一人暮らし、老々介護者等が増えており、車は必需品である。安心して利用できる地域交通ネットワークが整っていないければ、免許証返納はできない。

町は交通体系の見直しについて、デマンドバス導入も検討すると言っているが、どのような状況か。

**総務課長** 町営バスの見直しを図るため、デマンド交通を導入している自治体を訪問し、導入手法や運営の状況などの調査を行うとともに、本町の町営バスの運行に係る課題の把握に努めている。



品井沼駅前バス停

**問** 不幸な事故を起こす前に免許証返納を促そうと、返納者に補助や割引の特典を与えている自治体が日本各地で増えている。特典制度を導入する考えはないのか。

**町長** 70歳以上の方々に対し、町営バスの無料化やタクシー利用券の補助等を行っており、近隣市町と比較して遜色ない。

また、来年からの総合生活支援制度で買い物支援を検討したい。免許証返納については、塩釜署の意見を聞く等促す方策を取りたい。

## 問 災害対策費用保険制度への加入は

**答** すぐ加入することは考えていない

**問** 災害対策費用保険は、地方自治体が避難指示や勧告等を発令した際にかかる費用を補てんするための団体保険制度で、平成29年5月に導入すると報道された。

自然災害による住民被害を防ぐには、より早く避難指示や勧告を出す必要がある。しかし、避難

所開設の費用負担が発生するため、それを懸念して指示・勧告が遅れる場合があり課題となっている。

本町は、この団体保険制度に加入する考えはあるのか。

**町長** 先月の11月29日に県内の町村長の会議が自治会館であった時に説明があった。

現在、すぐに加入することは考えていないが、これまでの災害に要した費用やどの範囲まで保険制度の対象となるか調査を行い、県内や全国的な加入状況を見据えながら判断したい。



危険水位を超えた吉田川



あきらの 今野 章 議員

一般質問

## 問 町営バスの日曜日運休、今後は

### 答 あり方を検討し、議会と協議する

**問** 12月から町営バスの日曜日運休が始まったが「どんぐりや日曜に多い町の諸行事に行くにも町営バスが動かないのは困る。」という声がある。交通空白地帯の住民の足の確保が目的の町営バスの重要性は今後も変わらないし、高齢者の運転事故の多発など重要性を増している。町営バスの日曜日運休に至る庁内の意思形成はどのように行われたのか。

**町長** 町営バスの日曜日運休について、28年3月議会での一般質問に「日曜日運休の試行」について答弁しており、年度当初各課の懸案事項打ち合わせの際、私から提案し、今後の在り方について庁議している。

**問** 日曜日運休をスタートする前に、それに代わる新たな交通施策が必要だったのではないかと。

**町長** 今回は試行であり、バスの運転手の休養や空バス運行の問題等々その在り方について検討し、2月にも議会と協議したい。

**問** 高齢化が進む中、高城、磯崎、海岸などの南部地域での足の確保対策、町営バスの駅乗り入れについての考えは。

**総務課長** 北部と南部では都市環境が異なり、地域事情に応じた運行としている。駅乗り入れは、関係機関と協議し、実現に向け取り組みたい。



**問** 「松島」にとつて海・島・松は、景観の命だが、残念ながら松くい虫被害が大きいです。今後の被害対策について、とりわけ急傾斜地や住宅地、鉄道といった箇所への対処は。

**町長** 松の被害については、第5次宮城県松くい虫被害対策事業推進計画で、今後5年間の松くい虫防除事業や被害木伐倒駆除の実施計画を国に提出しており、県から来年度も今年度同規模の予算措置と聞いている。住宅隣接地や斜面等の特殊伐倒作業は、専門家の意見や関係機関と打ち合わせ、駆除事業を施行している。

## 問 風光明媚な「松島」の保存を

### 答 景観としつらえの美しさ高める



松島湾を眺む

**問** 雄島、五大堂、福浦島の特性を生かす観光施策が不十分だし、ホームページの写真や説明、トイレの管理など見直すべきではないか。

**町長** 細やか情報発信と観光整備は、松島の自然景観の美しさ、しつらえの美しさを怠らない観光地という印象と来訪者の満足度を高めるものとして、継続して取り組んでいきたい。



## 「観光松島」の玄関口、 観光協会駅前案内所の閉鎖について



築50年、老朽化と衛生面を考慮し、業務を集約



色川晴夫 議員

一般質問

**問**

10月31日をもって、JR松島海岸駅前の観光協会案内所が閉められました。観光関係者、地域の方々は困惑していました。

駅前案内所は、国内外の観光客へのインフォメーションの場として、特に外国人観光客への対応は評価されていた。

我が国は観光立国を目指し、4年後の東京オリンピックには4000万人の観光客誘致を目指している。県でも知事を先頭に外国人観光客の誘客に積極的である。そのような中での閉鎖は残念である。

案内所は観光協会で運営しているが、町が補助金を出していることから、無関心ではいられない。このたびの措置は観光協会にとってやむを得

ない事情があつたのと思うが、観光松島の玄関口の窓口閉鎖は、このままでもいいとはだれも思っていないのではないかと。この閉鎖について、事前の報告はあつたのか。また、その理由は。

**産業観光課長** 町への報告はなかった。理由として、一つ目は、建設されてから50年が経過し、老朽化と衛生面の不安要素の他、職員の職場環境改善のため。二つ目として、案内業務と事務の効率化を図るためである。



JR松島海岸駅前の観光案内所

**問** 老朽化による耐震性の問題と環境改善で1ヶ所に集約することを会員は知っていたのか。また、観光案内所の閉鎖だけではなく旅館、遊覧船の案内所も閉鎖しなくてはならないのではないのか。

**町長** 観光協会の中で協議すること、私は観光に携わる人の心が一つになればと思っている。

**産業観光課長** 老朽化した建物を整備する資金が不足していることもあり、再開しないとの回答である。

**問** JR松島海岸駅改修工事で当初計画案にインフォメーションも明記されていたが変わらないか。

**町長** JR支社長と話し合い、松島海岸駅優先の方向で進んでいる。財源が厳しいこともあり、県とも協議している。その中にインフォメーションも掲げており、運営主体は今後協議していく。

**問** 駅改修費が18億円。町負担は3分の1の6億円であるが、お金の工面は。

**町長** JRが国と協議しており、29年度9月または12月議会で2〜3000万円の補正予算を組み、実現に向け頑張っていく。



あか ま ゆき お 議員  
赤間 幸夫 議員

一般質問

## 問 町政の運営姿勢に、変化が生じてきているのか

答 役場内の情報を共有し、出来ることは速やかに行動に移す努力をしている

町民を意識して

**問** 計画行政の推進では、計画と実施に乖離はないか。常に目標管理とそのチェック機能が働いて、町民にオープンに出て来ているか。

**町長** 目標値には計測可能な施策もあり、毎年度、実施計画の中で確認を行い、計画と実施内容に乖離が発生しないよう注視している。

また、行政評価では長期総合計画の事務事業ごとに目標値に対する成果指標を掲げており、その評価内容も達成度合が高まった平成30年度を目的に町民へ公表したいと考えている。

**町長** ソフト的なもの（自前に対応が可能なもの）は速やかに対応できるよう進めており、事案が出たら、まず相談者の話を聞き、現場に向くように努力している。

**問** 組織のトップとして自らの経営的感覚は、着実に職員に根付いてきているか。

職員の意識改革で



庁舎の様子



ハード的なもの（予算が伴い時間の掛かるもの）であれば、町でいろいろと検討し、時間を要する場合も出てくる。特に、今年度の場合ではクマ出没の問題から人の行方不明の問題と人命に係るものは、速やかに対応してきている。

**問** 職員給与改善に対する取り組み姿勢は

**答** 他町村の調査結果など参考に、人事評価を入れ改善していく

職員の給与実態は

**問** 役場職員の給与実態に対する町長の認識は。

**町長** 他町村に比べ、低いし、このままではいけないと認識している。

**総務課長** 平成27年4月1日時点でのラスパイレス指数では、本町は91・0であり、類似団体平均では95・6、全国町村平均は94・2、県内22町村での平均が93・0である。本町は下から2番目に低いものとなっている。

**問** 近隣町村などを参考に、施策を調査・研究を行う考えは。

**総務課長** 情報収集は県内だけでなく県外も含め収集を行い、近隣の自治体ではなぜ高いか、なぜ我々は低くなったのかを含めて調べている。

現段階では、人事評価を有効に使いながら、職員のモチベーションが下がらないよう努めていきたい。

**まめ知** ラスパイレス指数とは？  
全地方自治体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国を1000として計算した指数である。

## 問 投票率向上のために

### 答 投票しやすい環境づくりに努める



後藤 良郎 議員

一般質問



模擬投票

**問** 昨年6月に、選挙権年齢を18歳以上とする改正公職選挙法が成立した。本年7月の参議院選挙及び期日前投票等について、学校では具体的にどのような取り組みをされたのか。

**選挙管理委員会事務局長** 全国どの自治体においても若い人たちの投票率が下がっていることが問題となっている。18歳選挙権年齢引き下げを踏まえて、選挙管理委員会から松島高校に選挙出前講座の働きかけをし、2回実施した。学校からは、生徒の選挙に対する意識に変化があり、継続の希望があった。また、平成25年の参議院選挙の際に期日前投票で高校生を事務補助員と

して起用した例があり、先般の選挙管理委員会でも話題になった。これからは高校生の立会人などを取り入れながら、若い人たちの投票率の向上に役立てていきたい。

**問** 選挙権年齢が18歳以上になったことで、高校生の一部も有権者である。これからは小・中学生等に関する主権者教育も必要であると考えますがどうか。

**教育長** 参政権については、中学校の授業の中で指導するということが学習指導要領によって決まっている。新しい制度改革であり、まだ教材化して各学校に浸透していない状況である。小中学校の段階でどのような教え方、どのような意識づけをしたらよいか、その辺はまだ課題が残る。

**問** 毎回選挙のたびに、投票率が下げてまわっている。18歳になった有権者や若い有権者の声を政治に反映させるためにも、期日前の投票所の増設をすべきだがどうか。

**町長** 最近政治家に対する評判が必ずしも良くない。期日前投票所の増設よりも、松島高校から協力的な話もあり、選挙の仕組みや投票のしやすい環境づくりのためのサポートに努めたい。



# 雨水ポンプ場建設へ 事業団と協定 12億8600万円

平成28年第4回定例会は、12月9日から14日までの会期で開催されました。  
条例の一部改正、工事請負契約、各種会計補正予算などの23議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

## 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

### 主な内容

平成28年8月8日の人事院勧告に沿い、育児休業等に係る子の範囲の拡大及び介護休暇の分割・介護時間の新設について改正するもの。

## 質疑

### 赤間幸夫議員 職員の介護休暇等の取得状況は。

また、規定の3年を越える長期の場合、無給休暇の措置もあると理解してよいか。

### 総務課長

現在も、これまでも知る限り介護休暇を取得した職員はなく、年休で対応していると考える。また、長期の介護休暇の場合、無給休暇の扱いとなるが、昇任、昇給は検討を要する。

賛成全員・可決

## 職員の給与に関する条例の一部改正

### 主な内容

人事院の勧告に沿い、職員等に支給する給料及

び勤勉手当を引き上げると共に扶養手当の見直しをするもの。

## 質疑

### 色川晴夫議員 再任用の給与における成績率の違い及び人事評価はどのように行われるのか。また、専門スタッフの導入についての考えは。

人事評価で成績率が出てくる。この中で優秀な成績を修めたとき勤勉手当が上がる仕組みである。人事評価はある期間における目標管理であり、達成度を計り、個人や管理者の評価を行うものとなる。専門スタッフは、組織を横断的に見られる職員として、考えるべき時期に来ている。

### 総務課長

再任用者は、人事評価で成績率が出てくる。この中で優秀な成績を修めたとき勤勉手当が上がる仕組みである。人事評価はある期間における目標管理であり、達成度を計り、個人や管理者の評価を行うものとなる。専門スタッフは、組織を横断的に見られる職員として、考えるべき時期に来ている。

### 赤間幸夫議員 扶養手当の見直し対象となる職員数は。また、再任用において豊富な行政経験、専門的知見や国家資格に準ずるような職員が出た場合どう考えるのか。

見直しの被扶養者数は、配偶者で36

### 総務課長

人、子供107人、父母などが18人である。また、豊富な経験や知識を持って退職される方が、若い職員に教え、視野が広がる意味では専門スタッフはいい職制だと考える。

## 質疑

### 今野章議員 薬局で医療費控除の薬かどうかの判断はどうするか。また、控除には、特定健康診査や予防接種が必要というが、その証明方法は。

対象品目が多く控除対象薬であることが分かり易く表示されると考える。また、健診等の結果の通知書等が証明になると思うが、詳しいことは現在わからない。

### 財務課長

特別適用利子等及び特別適用配当等については、日本と台湾との間での契約ということによいか。

### 菅野良雄議員

特別適用利子等及び特別適用配当等については、日本と台湾との間での契約ということによいか。

### 財務課長

日本と台湾の間には租税条約がなく、台湾については民間で結ぶ形になっている。

### 賛成全員・可決

## 松島町国民健康保険の一部改正

### 主な内容

所得税法等の一部改正に伴い、町民税で分離課税される特別適用利子等及び特別適用配当等の額

を国民健康保険税の所得割額の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるため改正するもの。

## 質疑

### 阿部幸夫議員 この改正内容を分かり易く説明願いたい。

前の町税条例改正に関連し、台湾における配当及び利子所得を総所得に含め、国保税の所得割の算定あるいは軽減判定において用いるための改正である。

### 賛成全員・可決

## 集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正

東日本大震災復興交付金事業による避難施設の建設に伴い、名籠支館及び三浦支館を解体し、両施設を廃止するため改正するもの。

### 主な内容

東日本大震災復興交付金事業による避難施設の建設に伴い、名籠支館及び三浦支館を解体し、両施設を廃止するため改正するもの。

### 今野章議員 解体時期はいつ頃か。古浦も避難所が完成したが、古浦の集

## 質疑

所を国民健康保険税の所得割額の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるため改正するもの。

## 質疑

### 今野章議員 解体時期はいつ頃か。古浦も避難所が完成したが、古浦の集

所を国民健康保険税の所得割額の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるため改正するもの。

会所・農村公園・トイレの管理はどうなるか。

**総務課長**

年度内に解体したい。古浦集会所は、補助金の関係もあり残す方向で、指定管理料を見直す。トイレは今後の検討としたい。

賛成全員・可決

**松島町水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正**

**主な内容**

人事院勧告に沿い、扶養手当の見直し及び育児休業等に係る子の範囲の拡大並びに介護休暇の分割、介護時間の新設について改正すると共に、雇用保険法の改正に伴い、高齢者雇用保険等の改正に関する改正をするもの。

**質疑**

**菅野良雄議員**

高齢者雇用保険等の改正と現在いる臨時職員との関係は。また、保険料率の負担割合、さらに求職活動費の拡大の内容は。

**水道事業所長**

今回改正の退職手当の部分に関し

ては該当しない。また、保険料率は、事業主負担分が1000分の7、労働者負担分が1000分の4となるが、率は毎年変更となる。求職活動費は、受給資格者が公共職業安定所の紹介で遠隔地での求職活動をする場合に交通費、宿泊代等が拡大されたものである。

色川晴夫議員 給与条例の改正で増額補正となるべきだが減額となった理由は何か。

**水道事業所長**

病気休暇が1名と育児での部分休業が1名おり、ボーナスや給与が減額支給となるためである。

賛成全員・可決

**財産の取得**

**主な内容**

社会資本整備総合交付金（復興枠）で予算の配分を受けた町道根廻・磯崎線道路整備事業に必要な土地を取得するもの。

○面積 1万5011㎡

○取得金額

3267万6200円

賛成全員・可決



長田雨水ポンプ場予定地



小梨屋雨水ポンプ場予定地

**工事委託に関する協定の締結**

**主な内容**

復興交付金事業に係る長田雨水ポンプ場及び小梨屋雨水ポンプ場の建設工事にあたり、日本下水道事業団と工事委託協定を締結するもの。

○協定の相手

日本下水道事業団

○予定概算事業費

12億8600万円

○完成予定年度

平成30年度

**質疑**

**今野章議員**

用地の取得は完了しているか。また、損失補償については、前の調査は行うのか。小梨屋ポンプ場に自家発電装置がないのは何故か。

**水道事業所長**

両用地とも取得は完了。損失補償は、小梨屋で南側が民家であり契約締結後に再度相談し、事前調査も考えたい。自家発電装置は、用地取得面積の関係から設置場所の確保が難しい。

く、緊急時には隣接する汚水中継ポンプ場から電源を確保し、その後、発電機を設置する。

**高橋幸彦議員**

西の浜地区は自然排水で雨のたびに冠水する。長田ポンプ場との関連は。

**水道事業所長**

建設にあたり長田ポンプ場の排水区に西の浜排水区の一部を取り込んでおり、解消するものと思うが、建設完了後の水の流れも見ながら対応を考えたい。

色川晴夫議員 大雨時は必ず浸水する地域で、一日も早い完成が待たれるが、地元説明会は行ったのか。

**水道事業所長**

今回はポンプ場の建設であり、流入管渠の設計・工事が未発注なことから管渠工事の際に区長とも相談し説明していきたい。

賛成全員・可決

**工事委託に関する変更協定の締結**

**主な内容**

平成27年12月14日議決の松島浄化センター長寿命化改築工事委託（沈砂池設備、沈砂池設備関連操作設備及び監視制御設備の更新）に関し、工事が平成29年3月に完了見込みで、事業費精算へ協定の変更をするもの。

○協定の相手

日本下水道事業団

○現協定金額

2億880万円

○変更後の協定金額

1億6000万円

（4880万円減額）

賛成全員・可決

### 工事請負契約の締結

#### 主な内容

社会資本整備総合交付金事業（復興枠）として実施する町道根廻・磯崎線道路整備工事に関する請負契約を締結したものの。

#### ○契約の相手

株式会社森本組東北支店

#### ○道路改良工

施工延長374・5m

#### ○工期

平成29年3月31日  
（平成29年度繰越予定）

### 質疑

#### 赤間幸夫議員

外来種の盛土植生が騒がれているが、植生内容はどうなるか。また、落札率に大きな開きがあるが、町は発注者として明細書等、チェックしているのか。

#### 建設課長

今回は地元業者も公募可能と考えたが、工事が大きすぎたのか参加はなかった。今後は、受注機会の場を多くするよう考えたい。

賛成全員・可決



町道手樽・富山駅線避難道路

### 工事請負契約の締結

#### 主な内容

東日本大震災復興交付金事業として実施する町道手樽・富山駅線避難道路整備工事に関する請負契約を締結したものの。

#### ○契約相手

我妻建設株式会社

#### ○道路改良工

施工延長340m

#### ○工期

平成29年3月31日  
（平成29年度繰越予定）

### 議員提案

松島町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

#### 主な内容

人事院の勧告に沿い、職員等に支給する給料及び勤勉手当の引き上げに併せ、町議会議員の期末手当を0・1カ月分引き上げるもの。

賛成全員・可決



町道根廻・磯崎線（磯崎側）

#### 主な内容

平成26年3月に設置した議会活性化調査特別委員会は、女性や若年層世代の議会への参画、議員の資質の向上、議員年金制度の廃止などを踏まえた生活基盤の保証、20年間据え置き議員報酬など、議員活動の活性化に向け、報酬の見直しをすべきとの総意をまとめ、5万1000円の引き上げを要望した。

平成28年11月2日には町の議員報酬等審議会が開催され、審議の結果2万4000円引き上げの答申となった。

議会は、有識者の方々に構成する報酬審議会の意見を十分に尊重すると共に、本町の財政見通し等を考慮し、答申の内容により議員報酬の改正をすることにしたものの。

賛成全員・可決

# 仙台国際空港二次交通運行調査事業 瑞巖寺総門公衆トイレ整備事業など

## 7億6350万円増額補正

平成28年度

### 各種会計補正予算

#### 一般会計

#### 補正予算

(第6号)

#### 主な内容

- 人事院勧告に沿った給与の改定、職員の育児休業、病気休暇等及び共済組合負担金の負担金率の改正に伴う人件費並びに第16回配分可能額通知のあった東日本大震災復興交付金事業等について補正するものである。主な事業は次の通りである。
- 松島地区下水道施設移設事業
- 町道上竹谷・高城線外道路整備事業
- 臨時福祉給付金事業
- 児童館遊具等備品購入事業
- 仙台国際空港二次交通運行調査事業
- 瑞巖寺総門公衆トイレ整備事業
- 石田沢防災まちづくり拠点施設備品購入事業
- 全国高等学校総合体育大会実行委員会負担金

#### 質疑

- 後藤良郎議員** 仙台国際空港二次交通運行調査事業で調査結果が好い場合は継続されるのか。
- 産業観光課長** この事業は、東北観光復興対策交付金が原資であり、平成30年度まで財源が継続されるので、30年度までは続ける。
- 色川晴夫議員** 補助金がなくなればやめてしまうのか。
- 町長** 最低でも3年は継続する。ただ乗車率が悪く負担がどんどんふえていく場合には、継続できる方策を考えていく必要がある。
- 櫻井靖議員** 仙台国際空港二次交通について、外国人に向けての対策は。
- 産業観光課長** 一番就航数の多い台湾のエージェントに告知していく。
- 町長** 他の観光地と連携して、3泊4日や4泊5日のパッケージをつくり、外国人が見てすぐ分かるものが必要であると、ある国の駐日大使からアドバイスをもらった。
- 赤間幸夫議員** 仙台国際空港二次交通で、1市2町の負担金の比率はどのように決めたのか。
- 産業観光課長** 本事業を始める前に1市2町で協定を結んでおり、負担割合や事務総括をどこの町が行うかということも取り決めている。
- 今野章議員** 仙台二次交通運行調査期間は来年以降はどうなるのか。
- 産業観光課長** 来年、再来年と交付金の内示を受けられれば通年とする計画であり、今予算の約4倍の事業費となる。

議案審議

### 仙台国際空港二次交通対策事業 (松島町、東松島市、平泉町)

**岩手県平泉町**  
中尊寺・毛越寺

**宮城県仙台市**  
仙台うみの杜水族館

**宮城県名取市**  
仙台国際空港

**世界遺産**  
平泉町

**日本が誇る世界に認められたブランドの発信!!**  
宮城県東松島市

**四大観・大高森**  
宮城県松島町

**世界でもっとも美しい湾クラブ**  
日本三景松島

松島湾エリア

**色川晴夫議員** 石田沢防災まちづくり拠点施設はいつオープンするのか。また1年間は町直営で管理する予定であるが、管理費はどのくらいか。

**総務課長** ゴールデンウィーク前にオープンしたい。管理費は約1400万円見込んでいます。

**櫻井靖議員** 石田沢防災まちづくり拠点の展示パネルは備品に入っているのか。

**危機管理監** 備品には入っていない。附帯工事と考えている。

**町長** 石田沢については頭の痛い問題である。来年一年ぐらいで、いろいろなものを整備していく。

**色川晴夫議員** 瑞巖寺総門公衆トイレ整備事業にふるさと納税1000万円をあてているが返礼品は。

**町長** この名古屋の方からの1000万円のふるさと納税は昨年度であり、新たな町の返礼品を決定する以前に決めています。

**赤間幸夫議員** 瑞巖寺総門公衆トイレの管理費を町以外の関係者に求めることはできないのか。

**産業観光課長** 今現在の運用方法を変える予定はない。

**色川晴夫議員** 出産一時金の増額補正は。

**町民福祉課長** 当初は10人分を計上したが、5人分を増額補正した。

**町長** 出産一時金や、合併浄化槽の設置基数が予算より多くなることは、町にとってよい方向である。

**菅野良雄議員** 児童館遊具等備品購入事業は、県の補助事業があったから補正したのか。

**町民福祉課長** 児童館を1年間運営して、新たな備品が必要になったためである。

**町長** 国や県の補助メニューに常に気をつけるように指示している。

**今野章議員** 臨時福祉給付金のシステム改修は必要なのか。

**町民福祉課長** 給付金に

対する事業1つで契約が終わっているため、改めて契約をするものである。

賛成全員・可決

### 国民健康保険特別 会計補正予算 (第3号)

#### 主な内容

人件費を補正するほか、一般被保険者療養給付費、高額療養費、出産一時金の実績見込みに伴う精査及び後期高齢者支援助金並びに前期高齢者納付金、介護納付金の納付額が確定したことに伴い補正するもの。

賛成全員・可決

### 介護保険特別 会計補正予算 (第3号)

#### 主な内容

人件費を補正するほか、地域介護・福祉空間整備推進交付金を活用し、介護従事者の負担軽減を図るため介護ロボット等導入支援補助金を計上するもの。

## 質疑

**赤間幸夫議員**

総合生活支援事業の中身をできるだけ早く町民に知らせるべきではないか。

**町長** 町内の各区長や行政員と郡山市へ研修に行った際に、健康長寿課職員が1時間説明した。

**後藤良郎議員** 地域介護福祉空間整備推進交付金の中身は。

**健康長寿課長** ベッドからの転倒や徘徊等の事故防止のために体重移動センサーでキャッチして、支援するほうに伝えられるというセンサー搭載キャッチナースコールシステムの、2台導入する予定である。

**櫻井靖議員** この交付金は毎年あるものか。

**健康長寿課長** 2月の通知を受けて行われた補助メニューであり、継続的ではない。

賛成全員・可決

### 観瀾亭等特別 会計補正予算 (第2号)

#### 主な内容

人件費を補正するほか、今年度の消費税及び地方消費税中間納付額の確定並びに各事務事業を精査するもの。

## 質疑

**色川晴夫議員** 増額補正の理由は。

**産業観光課長** 台湾からの観光客数が増え、福浦橋の通行料が増えた。

賛成全員・可決

### 下水道事業特別 会計補正予算 (第4号)

#### 主な内容

人件費を補正するほか、今年度の消費税及び地方消費税中間納付額の確定に伴い増額補正するもの。さらに、下水道建設費で、松島浄化センター長寿命化改築工事委託の事業費精算による減額並びに東日本大震災復興交付金事業第16回申請で採択された松島幹線汚水管渠移設工事について補正するもの。

賛成全員・可決

### 水道事業特別 会計補正予算 (第3号)

#### 主な内容

給水の改定及び共済組合負担金の負担金率の改正等に伴う人件費を精査し、水道事業費用の総額を5億7959万1000円とするもの。

賛成全員・可決



# 皆々からの

# 請願・陳情

後期高齢者医療制度の保険料軽減特例措置の継続等を求める意見書の提出を求める請願

……第2常任委員会へ付託

## 《趣旨》

平成20年度に創設された後期高齢者医療制度では、激変緩和の観点から、世帯所得に応じた保険料の軽減特例措置が設けられ、均等割は9割まで、所得割は5割まで軽減する予算措置が講じられてきた。

保険料軽減特例措置の廃止に当たっては、低所得者に対する介護保険料軽減の拡充や年金生活者支援給付金の支給とあわせて実施することにより低所得者に配慮しつつ、急激な負担増となる者については、きめ細やかな激変緩和措置を講ずることとしているが、このたびの消費税率再引き上げの先送りに伴って、年金等の施策の見直しが検討されている。よって、国においては、社会保障・税の一体改革による社会保障の充実に係る施策の見直しについて、低所得者の負担に對して配慮したものとなるよう、後期高齢者医療制度の保険料軽減特例措置の継続を含めた見直しを行うよう求める意見書を提出することを請願する。

〔請願者〕 塩釜地域社会保障推進協議会

- 代表幹事 内藤 孝
- 代表幹事 齊藤 規夫
- 代表幹事 虎川 太郎
- 代表幹事 太田 政興
- 代表幹事 福岡 眞哉
- 今野 章

〔紹介議員〕

「高額療養費制度」「後期高齢者の窓口負担」見直しの慎重審議と現行制度継続を求める意見書の採択を求める陳情

……第2常任委員会へ付託

## 《趣旨》

宮城県保険医協会が会員に対して行った調査では、約半数の医療機関が患者の経済的な理由による治療中断を経験しており、約4割の医療機関が医療費負担を理由に治療や検査を断られた経験をしています。このことは、必要な検査を断る、薬がなくなっているのに受診しない、歯科の治療をためらうなど、経済的な理由で必要な受診ができない方が増えていると言えます。

平成28年6月2日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2016」600兆円経済への道筋「では、社会保障分野において、「経済・財政再生計画」に掲げられた外来時の定額負担の導入、後期高齢者の窓口負担の2割化、高額療養費制度の月額自己負担上限の引き上げ、市販品類似薬の保険はらずし、入院時の光熱水費の患者負担化などの改革項目について、着実に改革を実行していくとされています。

つきましては、高額療養費制度の月額自己負担上限の引き上げ及び後期高齢者の窓口負担の2割化について、慎重審議と現行制度の継続を求める意見書を、政府に対して提出するよう陳情いたします。

〔陳情者〕 宮城県保険医協会 理事長 井上 博之

# 議員意見書 提案 4件提出

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

## 《要旨》

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。

よって、国及び政府においては、幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

### 【提出先】

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 内閣官房長官
- 財務大臣
- 総務大臣
- 厚生労働大臣

## 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書

### 《要旨》

厚生労働省は、医療従事者の勤務環境改善の取組を促進するため、各医療機関の取組を支援するよう都道府県に求めている。

しかし、国民のいのちと暮らしを守る医療・介護現場は深刻な人手不足となっている。また、「医療機能の再編」を前提とした医療提供体制の改善ではなく、必要な病床機能は確保したうえで医療従事者の勤務環境を改善していくことによる医療提供体制の改善が求められている。

安全・安心の医療・介護の実現に向けて、医療従事者の大幅増員・夜勤改善を図るため、左記の事項について、適切な対策を講じられるよう、強く要望する。

### 記

1. 医療従事者の夜勤交替制労働における労働環境を改善すること。
  - ① 1日8時間以内を基本に、労働時間の上限規制や勤務間のインターバル確保、夜勤回数の制限など、労働環境改善のため規制を設けること。
  - ② 夜勤交替制労働者の労働時間短縮すること。
  - ③ 介護施設などにおける1人夜勤を早期に解消すること。
2. 安全・安心の医療・介護を実現するため、医療従事者を増員すること。
3. 患者・利用者の負担軽減をはかること。
4. 費用削減を目的とした病床削減は行わず、地域医療に必要な病床機能を確保すること。

### 【提出先】

内閣総理大臣 厚生労働大臣  
財務大臣 文部科学大臣  
総務大臣 宮城県知事

## 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書

### 《要旨》

最低賃金に関わって、2010年に「できる限り早期に全国最低800円を確保し、景気状況に配慮しつつ、2020年までに全国平均1000円を目指す」とした政労使の「雇用戦略対話合意」が成立している。最低賃金1000円は、中小企業には支払いが困難との意見もあるが、欧州の先進諸国の最低賃金は、購買力平価換算で時間額1000円以上、月額約20万円が普通である。この水準の最低賃金で労働者の生活と労働力の質、消費購買力を確保しつつ、地域経済と中小企業を支える経済を成り立たせている。

政府は、中小零細企業への支援策を拡充しながら、最低賃金を引き上げる必要があると考える。よって、政府においては、左記の項目の早期実現を強く要望する。

### 記

1. 政府は、ワーキング・プアをなくすため、生活できる最低賃金にするため大幅引上げを行うこと。
2. 政府は、全国一律最低賃金制度の確立等、地域間格差を縮小させるための施策を進めること。
3. 政府は、中小企業への支援策を拡充すること。中小企業負担を軽減するための直接支援として、中小企業とそこで働く労働者の社会保険料負担の引き下げを実現すること。

### 【提出先】

内閣総理大臣 厚生労働大臣  
経済産業大臣

## 有害鳥獣(イノシシ)駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書

### 《要旨》

イノシシの生息域は、宮城県内においては丸森町が北限と言われていましたが、現在では県北部まで広がっている。

想定を超えるイノシシの繁殖力の前に、農作物に対する被害ばかりか、民家の庭先に現れるなど住民の日常生活も脅かしている。

よって、宮城県においては、イノシシ個体数の更なる削減、農産物被害軽減及び人的被害防止を実現するよう、左記の事項について強く要望する。

### 記

1. 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金の増額について  
狩猟免許取得促進と捕獲機材購入のための予算の増額を求めるもの。
2. 隣接自治体間及び各猟友会等の有機的な広域連携の制度化について  
自治体間の猟友会が密な情報交換を行い、有機的な連携を取ることのできる制度の創設と必要な予算措置を求めるもの。
3. 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金対象地域の拡大について  
イノシシ生息域の拡大に伴い、自治体間の連携を推進し被害防止の強化を図るため、宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金の対象地域等について、適用範囲の拡大を求めるもの。

### 【提出先】

宮城県知事

# 平成28年 第3回 臨時会

11月4日

## 平成28年度松島町 一般会計補正予算 (第5号)

### 主な内容

松島第五小学校校舎改修事業について補正するものであり、来年度以降入学予定の障害のある児童が安全に学べる環境を整備するため、特別支援学級の増設と校舎内環境整備に係る改修工事及び特別支援学級備品購入に要する経費について補正するもの

- 主な事業は次のとおり
- 特別支援教室間仕切り壁改修
- 職員室改修
- ワークルーム改修
- 1階・2階のトイレ改修
- 2階図書室の改修
- 廊下・階段手すりの設置

総事業費  
1385万5000円



第五小学校 改修予定箇所(階段)

### 質疑

#### 今野章議員

特別支援学級の増改築にあたり、国県等に対して支援の要請を行っているのか。

#### 教育長

教育長会や校長会、更には教育現場に携わる職能的な団体が毎年行っており、充実した形で補助、助成等をお願いするために問題意識を共有している。

### 臨時会・視察来町

#### 菅野良雄議員

五小以外に一小、二小に障害のある子供たちが入学予定の場合に、町は経費をかけた改修していくのか。

#### 教育次長

学校教育法施行令により平成25年に、障害の有無にかかわらず誰もが地域の学校で学べる教育をと国は言っているが、現状では種別の異なる障害児がいれば、町は単独経費で増設する必要がある。

#### 赤間幸夫議員

学校施設増改築に、復興基金を活用することの是非と、学校等改修に基金を使つたケースは。

#### 企画調整課長

大震災により被災した児童が学ぶ学校施設であり、学校施設の充実が図られ教育の復興に資する事業である。総事業費の約1割に相当する部分を基金から繰り入れる。これまでに第五小学校の屋根改修や児童館建設に充当を行ってきた。

#### 櫻井靖議員

手すりは1年生のときと5年、6年生では高さが変わり、改修が必要になるのではないかと。また、通常昇降口からの出入りだけでなく、特殊学級に別の出入り口がつくのか。

#### 教育次長

手すりは、学年が違っても添えるものであり、交換は必要ないと考えている。また、出入口は、消防法上、部屋には必ず2つの出入口がなければならぬとなっている。

賛成全員・可決

## 視察来町

### 埼玉県滑川町議会来町

平成28年11月7日、議会運営委員会・議会広報発行対策特別委員会が「議会報告会の実施内容と実績」、「議会だよりの編集・工夫点」等の研修のため来町した。

研修では、議会報告会年度スケジュール・各議員別構成及び役割分担・住民への広報活動・共通テーマ等を報告。また、議会だよりは、定例会終了後年4回発行とし、発行部数は5600部である。編集作業の大部分は、特別委員会で作業を行っているなど報告を行った。

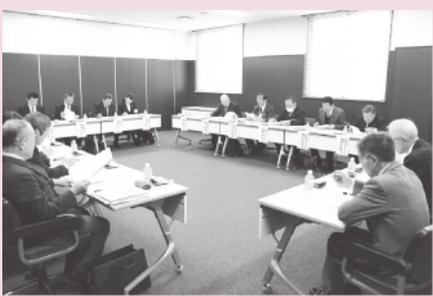


い、両町による意見交換が行われた。

### 宮城県利府町議会来町

平成28年12月19日、議員定数及び議員報酬等調査特別委員会、及川智善委員長他、11名が議員報酬等の研修のため来町した。

研修では、本町特別委員会として、取り組み・協議の経過・課題、さらには報酬の引き上げ額の根拠、住民への説明等について報告を行い両町による白熱した意見交換が行われた。



# 平成28年 第3回松島町議会臨時会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※片山正弘議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	澁谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	大齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	片山正弘	賛成	反対	
議案第98号	平成28年度松島町一般会計補正予算(第5号)	11月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0

# 平成28年 第4回松島町議会定例会 議案採決結果

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	澁谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	大齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	片山正弘	賛成	反対	
議員提案第6号	松島町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第99号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第100号	職員の給与に関する条例の一部改正について	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第101号	松島町町税条例の一部改正について	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第102号	松島町国民健康保険税条例の一部改正について	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第103号	集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第104号	松島町水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第105号	財産の取得について	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第106号	工事委託に関する協定の締結について	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第107号	工事委託に関する変更協定の締結について	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第108号	平成28年度松島町一般会計補正予算(第6号)	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第109号	平成28年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第110号	平成28年度松島町介護保険特別会計補正予算(第3号)	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第111号	平成28年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第2号)	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第112号	平成28年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第113号	平成28年度松島町水道事業会計補正予算(第3号)	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第114号	工事請負契約の締結について【町道手樽・富山駅線避難道路整備工事】	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第115号	工事請負契約の締結について【町道根廻・磯崎線道路整備工事】	12月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議員提案第7号	松島町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議員提案第8号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議員提案第9号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書について	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議員提案第10号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書について	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議員提案第11号	有害鳥獣(イノシシ) 駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書について	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0

採決表

## 議会運営委員会視察研修報告

### ◆視察研修日時と視察研修地

●平成28年10月31日

岩手県八幡平市議会

●平成28年11月1日

岩手県紫波町議会

### ◆目的

議会活性化の取り組み状況について

### ◆内容

①広報特別委員会の常任委員会化

②常任委員会の活動状況と議会報告会の対応について

③議会公開（インターネット）配信等の実施に至る経緯等について

④その他の議会広報・公聴活動について

### ◆まとめ

八幡平市議会については、本町議会も広報公聴常任委員会を設置することとは決定しており、常任委員会複数在籍、広報広聴の役割規定等、委員会条例の改正に向け参考に



岩手県八幡平市議会での研修

なった。また、議会広報誌では、紙面にクイズを掲載し、一緒に読んだ感想や市政や市議会への意見・要望を記し、応募してもらおう取り組みは参考となった。チャレンジを楽しみむくらしい柔軟な姿勢で試行錯誤を重ねなければということに気づかされた。

紫波町議会については、議会モニター制度の設置を行っており、モニター

の職務は、本議会の常任委員会・特別委員会の傍聴を行い意見を提出する事や議会広報誌及び議会関係のHPに関する意見を文書により提出してもらおうことで、議会を円滑に運営していく上からも議員の資質向上や議会全体の活力を向上させるためにも大いに役立つものと考えられる。本町議会としても検討すべき制度と感じた。

### ◆研修日

平成28年10月26日～27日

### ◆研修場所

シエーンバツハ・サポーター（砂防会館別館会議室）

### ◆研修目的

議会活動に対する住民の関心と理解を求めることが要請されていることにより、今回の研修を通じて議会広報担当者の実務と資質を高めることを目的とする。

### ◆研修内容

○「分かりやすく、伝える広報誌の表記」

長い文章は多くの人が「良い」と思い込んでいますが、読み手に負荷がかかり、時間を奪うことになる。常に最小の文字数に心がけ、不要な文字は徹底して省くことで、単刀直入に情報が伝わる。

○「読まれて、伝わる議会広報誌 ドラッカーに学ぶ10のキーワード」  
読まれない広報誌は、

## 議会広報発行対策特別委員会研修報告



全国町村議会広報研修会

・山形県川西町議会「かわにし議会だより」

### ◆まとめ

広報は「スツと読め、意味・内容がしっかりと読み手に伝わる表現・文章」が鍵となる。また、住民参加の記事を取り入れることにより、住民と議会の架け橋がより強くなる実感した。

言葉が難しい、誌面が堅い、つながりを感じられないことが多い。読みやすさだけでなく、住民参加などに工夫を行い、議会広報誌だからこそ伝えられる内容とする。

○「第30回広報コンクール紙面クリニク 優秀受賞誌から学ぶ」  
・岩手県金ヶ崎町議会「議会だよりかねがさき」

## 外国人観光客の受け入れ (インバウンド)について

### ◆調査目的

昨今、「インバウンド」という言葉が一般的に使われるようになり、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年には、訪日外国人観光客数4000万人の目標に修正されている。このような状況下において、本町として、外国人観光客受け入れに対し、どのように推進を図るべきかの調査を行うことにした。

### ◆調査経過の概要

町当局（産業観光課観光班）、一般社団法人松島町観光協会、東北観光推進機構のインバウンドについての考え方及び取り組みについて聞き取り調査を実施。

また、先進地視察として、沖縄県那覇市にある一般社団法人沖縄観光コ

ンベンションビューローと沖縄県国頭郡本部町で現地調査を行った。

### ◆調査結果等

観光、特に「インバウンド」による交流人口の増加は消費と雇用を拡大し、地域に活力をもたらすものと認識した。

しかし、当初の調査計画に組み入れていた宮城県観光課との日程調整が諸般の都合により調整がつかず行われていない。

現時点では調査不十分であり、調査期限を延長し、調査を行う必要があると判断した。



東北観光推進機構

## 議会活動

### ◆主な活動内容

- ・平成28年10月25日宮城県知事と町村議会正副議長との懇談会・研修会
- ・平成28年10月31日江合・鳴瀬・吉田川水系三河川改修促進に関する要望
- ・平成28年11月11日宮城県黒川地方町村議会表彰式

### 並びに議員研修会

「町村議会議員の役割と議会活性化について」のテーマで講座が開かれ、10名の議員が参加した。

・議会報告会を実施

平成28年10月15日から11月10日までの日程で松島町議会報告会を実施した。

### 報告会では、12行政区

を13人の議員が3班に分かれて担当行政区ごとに報告を行い、地域の要望などを開いた。

・その他

9月～12月にかけて町内各種団体の会合への参加、町の行事等に積極的に参加した。



敬老会



松島第一小学校学芸会

# 一部事務組合議会報告

## 宮城東部衛生処理組合議会

平成28年10月18日、宮城東部衛生処理組合議会第2回定例会が開催された。

### 行政報告

ごみの搬入状況及びダイオキシン類の濃度測定、さらに焼却灰・排ガス中の放射性物質濃度及び埋立地浸出処理水・地下水・各種敷地空間放射線量の測定結果が基準値内もしくは不検出である旨の報告があった

①富谷町が富谷市となることに伴い、宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会及び同審査会並びに宮城県市町村職員退職手当組合の規約の変更について、議会を招集する暇がなかったため、専決処分し、原案

のとおり議会で承認された。

②平成27年度宮城東部衛生処理組合会計歳入歳出決算認定については、予算現額11億8489万円に対し、歳入決算額は11億9047万3999円。歳出決算額は11億7126万1728円で、歳入歳出差引額は、1921万2271円となり、そのうち財政調整基金に1000万円を繰り入れ、残額921万2271円は平成28年度に繰越されており原案のとおり認定された。

③平成28年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算では、平成27年度に係る歳計剰余金の前年度繰越金及び組合預金利息を追加し、一般廃棄物処理施設整備基金へ元金積立を行ったものであり原案のとおり可決された。

後藤良郎 議員  
今野 章 議員



## 塩釜地区消防事務組合議会

平成28年10月20日、塩釜地区消防事務組合議会第3回定例会が開催された。

### 行政報告

火災発生件数は、34件で、前年比55%増の12件増加。このうち松島分では3件の発生、前年比同数の発生件数であった。また、救急出動件数は6403件で前年比3・4%増の209件増加。松島分は、698件で前年比44件増。次に台風10号により、甚大な被害が発生した岩手県への緊急消防援助隊の派遣について、当消防事務組合から9月9日までの間、延べ42隊、177名の職員が活動を行っている。

介護認定審査業務概要は、要介護認定審査判定の状況は審査会の開催数が147回、4396件の判定を行った。障害者支援区分審査判定業務概要は、障害支援区分に係る審査判定状況は審査会の開催数は11回、111件の審査判定を行った。

塩釜地区環境センター業務実績はし尿及び浄化槽汚泥の搬入量は4922トンで前年比10・9%減の600トン減少。

平成28年4月から9月末までの塩竈斎場利用実績は、合計で1059件と、前年同数の利用実績。

①平成27年度塩釜地区消防事務組合一般会計決算の認定について。歳入決算額は、20億5783万8756円、歳出決算額は20億2937万8252円、歳入歳出差引額は、

2846万504円となっている。歳入歳出差引額は全額財政調整基金に繰入。

②平成27年度塩釜地区消防事務組合介護認定審査事業特別会計決算の認定について。

③平成27年度塩釜地区消防事務組合障害者支援区分審査事業特別会計決算の認定について。

④平成27年度塩釜地区消防事務組合環境事業特別会計決算の認定について。

⑤平成28年度塩釜地区消防事務組合介護認定審査事業特別会計補正予算について。

以上、提案された議案は原案のとおり可決された。

一般質問 一件  
今野次男 議員  
宮城県ドクターヘリ運航について

高橋利典 議員  
赤間幸夫 議員

# 充実した議会報告会

皆さんの声を町政にお届けします

●開催期間 平成28年10月15日(土)～11月10日(木)まで

開催日	行政区	開催場所	参加人数	担当班
10月15日(土)	手樽行政区	手樽防災センター	14人	第3班
	北小泉行政区	滝ノ沢サブセンター	20人	第2班
10月20日(木)	松島行政区	垣ノ内集会場	18人	第1班
10月22日(土)	本郷行政区	本郷ふれあいセンター	20人	第1班
	桜渡戸行政区	桜渡戸分館	10人	第3班
10月23日(日)	初原行政区	初原コミュニティセンター	34人	第2班
	下竹谷行政区	北小泉・下竹谷地区コミュニティセンター	9人	第1班
	上竹谷行政区	上竹谷生活センター	8人	第2班
10月28日(金)	高城行政区	高城コミュニティセンター	22人	第3班
10月29日(土)	幡谷行政区	品井沼農村環境改善センター	25人	第3班
10月30日(日)	根廻行政区	根廻分館	18人	第1班
11月10日(木)	磯崎行政区	白萩避難所	24人	第2班
計			222人	

●班構成 ◎:班長

担当班	議員名
第1班	◎阿部幸夫・小幡公雄・太齋雅一・色川晴夫・片山正弘
第2班	◎赤間幸夫・高橋幸彦・菅野良雄・高橋利典
第3班	◎櫻井 靖・澁谷秀夫・後藤良郎・今野 章



第1班 (垣ノ内集会場)



第2班 (初原コミュニティセンター)



第3班 (手樽防災センター)

質問に対する回答など、詳細は、  
3月1日発行号(予定)でお知らせします

— 多数のご参加ありがとうございました —



石田 堅さん  
(磯崎)

townspeople

## 磯崎の住民となって

縁あって、松島に移り住んで、三十五年になりました。住み始めの頃は、また何処かに引越してしまうのかなあと思つて暮らしていました。が、磯崎の方々との交友、林さんからの結婚式への招待を受け、初めて磯崎の住民としての自覚が生まれました。それ以来、交際範囲も広くなり、色々な方々と知り合い現在の活動の礎になっています。磯崎では震災後、白萩・長田避難所の新築や磯崎避難

所(旧緑松会館)の改築と、避難所の充実とともに、道路の整備、拡張と新しい磯崎に向かって進んでいる現状です。また社会現象である高齢化が進むなか、地域住民のボランティアによる福祉活動も盛んに行われています。暮らしやすく魅力ある松島と地域作りのため、沢山の方々のお力添えを頂きながら貢献出来れば幸いです。

## 文化の日 宮城県知事表彰

11月8日に東京エレクトロンホール宮城で開催された平成28年文化の日表彰で、今野章議員が表彰されました。



議員として長年にわたり、地方自治の振興に尽力された功績が認められました。

## 旭日単光章受賞

内海義雄氏(元議員)が旭日単光章を受章されました。



議員として平成元年より16年間(4期)の長きにわたり、さらには監査委員としても4年間務められ、高邁な政治理念をもって町政発展のために尽力された功績が認められました。

## 旭日単光章受章

故佐々木武次郎氏(元議員)が旭日単光章を受章されました。

議員として昭和48年より16年間(4期)の長きにわたり、高邁な政治理念をもって町政発展のために尽力された功績が認められました。

## 表紙を飾られた皆さんからのメッセージ

松島の歴史と伝説 語り部の会 佐藤 成之

私達は、松島の地元の人や観光客に、松島に伝えられている歴史や伝説を語り継ぐ活動をボランティアで行っている任意団体です。平成28年8月に発足したばかりではありませんが、全員、良い語り部になろうと研修に勤めております。全国各地に昔話や震災についての語り部の会はありますが、我々のような歴史や伝説を語り継ぐ語り部の会は珍しいのではないのでしょうか。活動は、4月から11月までの土日、午後2時から1時間程度、松島海岸の水主町民家(円通院向かい)で行っており、毎回20人以上が聞きに来てくれます。地元の人からは「今まで知らなかった。勉強になった。」観光客からは「観光する前に聞きたかった」というご意見をいただき、励みとしています。現在、12名で活動しております。語り部になりたい方は、円通院にご連絡ください。

## 次回3月の定例会は

3月3日  
開催予定です。  
ぜひ、傍聴に  
おいで下さい。



## 議会広報発行対策特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 阿部 幸夫 |
| 副委員長 | 櫻井 靖  |
| 委員   | 赤間 幸夫 |
|      | 後藤 良郎 |
|      | 高橋 幸彦 |
|      | 今野 章  |

平成29年は「トリ年」であり、昔から景気などが上昇すると言われております。ぜひ、松島町全体が良くなるよう願っています。

(高橋幸彦)

## 編集後記

この原稿は、平成29年1月に書いています。

昨年は熊本や鳥取の大地震、多大な被害をもたらした10号に代表される台風など、東日本大震災ほどではありませんが、災害の多い年でした。私の生業であるカキ養殖も最大の販売期間である年末にかけて、ノロウイルスによる生食用出荷の休止や、それによる風評被害も売上も低迷しました。昔から言われているとおり、「サル年」は良くないということを実感しました。